



福島県の視察に行ってきました 復興許されない異常な地域も



通りを走る車も人通りもない
南相馬市にて

8月29日参議院で野田首相の問責決議が可決。共産党など7野党・会派の問責決議案は民・自・公3党合意を痛烈に批判。でも自民は賛成

まるで自己否定だ。公明は「増税の最大の立役者」を誇り採決は棄権。財界の圧力による3党連合は増税と社会保障解体だけ決めて早くも互解か？

古い政治へ逆走する“維新”

そこでメディアは既成政党不信をとおし、「第3極の維新・維新」と持ちあげ劇場型選挙の再来を画策。その「維新」橋下代表は、5年前突如政権を投げ出した無責任男、安倍元首相に「教育と改憲は一致」と心酔。政党助成金目当てに他党のタカ派議員らと新党をめざす。同代表は原発も消費税増税も財界いいなり、「日米同盟が機軸」と基地押し付け、TPP推進である。おまけに超「独裁」好みで古い政治へより強権的に逆走する維新。選挙で勝ち馬に群がる政治家が盛んにエールを送る今、政界に詳しい人は「共産党除くと政党らしい政党はない」

との声 (9月2日付日刊赤旗1面「政治考」)。

のり子の週間予定 (主なもの)

- 9月 7日 市駅・吉宗像前朝宣伝、会議
- 8日 地域訪問、
- 9日 国体記念イベント
- 10日 後期高齢者・介護保険不服申し立て県交渉
- 11日 休み
- 12日 9月県議会開会
- 13日 議事調査

虫の声に秋を感じる頃になりましたが夏バテは大丈夫でしょうか。この夏、節電対策により冷たいものをのむ機会が多くなり胃腸の具合が良くない人が多いと聞きます。お体を大切にしてください。

リレートーク

LNG火力発電所再建設計画?

関西電力が住友金属構内の埋立地を購入し、LNG火力発電所敷地としたのは1998年のことです。当時は日本経済が低迷し、建設計画を掲げたものの建設は中止となりました。

ところが、福島県の原子力発電所が3・11の地震・津波によって破壊され、全国の原子力発電所の再稼働が電力会社の意にそぐわなくなったことよって、既存の火力発電所の再稼働及び建設計画が再浮揚しています。

8月中旬、一般紙夕刊に建設計画が記載されました。記事によれば「県・市議会で建設促進決議がされ、地元の理解が得やすくなっている」と報道されました。和歌山市担当課に問いただせば、和歌

さて先週は調査や懇談、クラス会など超過密スケジュールでしたが9月議会へ大変勉強になりました。看護学院のクラス会は那智勝浦で開かれました。昨年の台風12号の被害から1年です。まだまだ被害の爪痕が残っていますが少しずつ復旧、復興がすすめられています。しかし、地震と津波の被害の上、原発事故の放射能被害による福島県では、町を復興させてゆく事が許されない異常な事態になっている地域があります。3日と4日の2日間、党県議団で福島県に行つて参りました。元市職員の方で南相馬市の視察や放射能被害とたたかっている農家の方との懇談、県当局には原発事故避難者への生活支援の状況や農林水産業への影響と対応、最後は党福島県議団と懇談させて頂きました。

リレートーク

山市は関西電力からは何の連絡もない、とのこと。

報道の真意は図りかねますが、日本共産党市議団は「建設要請」決議に反対しました。

LNG火力発電所建設の土地は産業廃棄物の埋立地であり、関西電力自身の調査によれば埋立地の土中には基準の18倍もの高濃度でダンオキシンがあることが判明しています。その対応も検討されていません。また環境影響調査書についても10数年前のことであり、地震対策、液状化対策及び計画では送電線は地下埋設されることとなっていました。電磁波対策等についても地元への説明も十分なまま建設計画は中止されました。

新たに建設されるとなれば、再度「環境影響調査書」の提出が必要となり、市議会でも「環境特別委員会」での議論が最初から必要不可欠となります。いずれにしても地域住民への納得のいく合意を求めていきたい、

党市議会議員
渡辺 忠広



一般紙が報道⇒市担当課「何の連絡もなし」